

# 話題

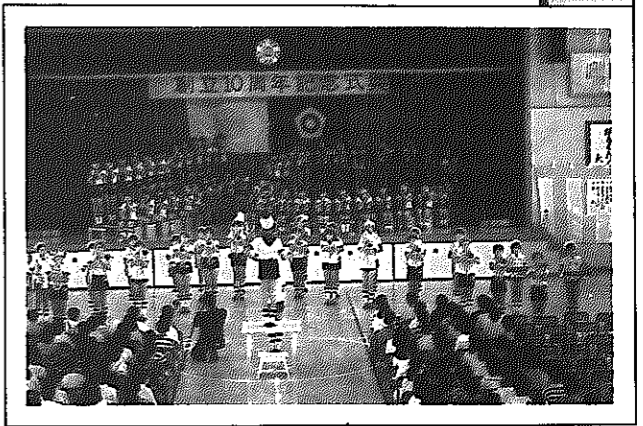
# ま ち の

## 新しい伝統を築きます

大鷲小  
10周年

大鷲小学校の創立十周年記念式典が十月三日に行われました。同校は大郷、鷲巻両小学校が合併して昭和五十八年に開校。昭和六十年には全国保健体育研究優秀校を受賞するなど、伝統を築いてきました。

式典では風間校長が「十年を一つの節目に、高い理想を持った心の広い人間を目指します」とあいさつ。児童全員が「力を合わせて新しい伝統を築きます」と誓いの言葉を述べました。アトラクションでは同校鼓笛隊が10の文字をかたどって演奏。北中フラスバンド部も友情出演し、十周年を祝いました。



## 初めてポニーに乗ったよ

動物フェスティバル

九月二十三日、白根総合公園で動物フェスティバルが開かれ、家族連れなどでにぎわいました。これは動物愛護週間にちなんで、動物愛護協会新津支部などが主催したものです。ポニーの乗馬やミニ動物園などで大好きな動物たちに触れ、子供たちは大喜びです。子犬や子猫の里親捜しでは、抽選に漏れて泣き出す子供はほえましい姿も見られました。

席上、長寿動物飼育功労者として次の人が表彰されました。(敬称略)

〔天の部〕真保栄一(庄瀬上町)、市島久男(四ツ興野)、近藤清一郎(鯉沼)〔猫の部〕猪腰順子(下塩俣)



## 無事故の順風船に託して

交通安全  
フェア

庄瀬中学校で九月二十八日、交通安全フェアが行われました。これは地域の交通安全の輪を広めようとJA白根市が毎年開催しているものです。腹話術による交通安全教室ではクイズで楽しみながら学習。続いて行われたアトラクションでは、歩行者の飛び出しや大型トラックによる左折巻き込みの実演が行われ、事故の恐ろしさを目の当たりにしました。

グラウンドには県警のヘリコプターや白バイなども展示され、子供たちは大喜び。最後に子供たちが交通安全の願いを託した風船を空に飛ばし、無事故の誓いを新たにしました。

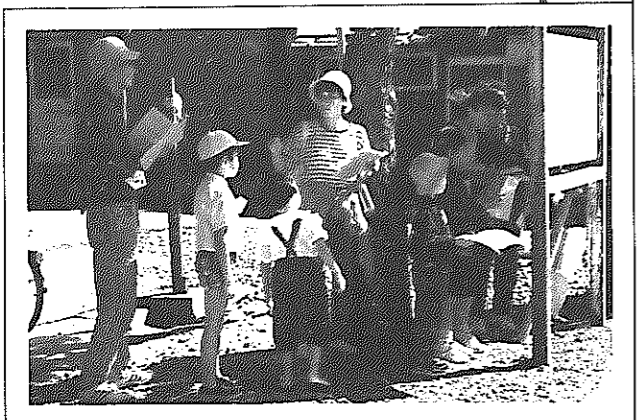


## 広報を読めばよかった

白根ウオー  
ラリー大会

白根地区公民館主催の白根ウオーラリー大会が、九月二十七日に行われました。これは昨年まで行っていた市民運動会に代わる催しとして行ったもの。親子コースやレディースコースなど、四つのコースに八十組、三百五十人が参加しました。

知っているつもりなのに、一つ奥の路地は初めての道。コース図を片手に「どっちに行くの?」と首をひねりながら、チームワークでゴールを目指します。チェックポイントの問題は本紙から出題されたものも多く「広報をよく読んでおけばよかったね」とつぶやく声も聞かれました。



## 心に染みるステージ

詩と音楽  
の夕べ

生涯学習強調月間のメイン行事「詩と音楽の夕べ」が十月十八日、カルチャーセンターで開かれ、約四百人が詰め掛けました。

ほの暗いランプの明かりだけのステージは、とてもシンプルで幻想的。俳優の高橋長英さんが高村光太郎などの詩を朗読。ギター奏者の斉藤俊雄さん、リコーダー奏者の小俣達郎さんが美しい調べを奏でました。マイクを通さない詩と音楽の世界は、聴衆とステージに不思議な一体感が。

「地味ですが、心に染みる素晴らしいステージ。またぜひこういう機会を」という声も聞かれました。

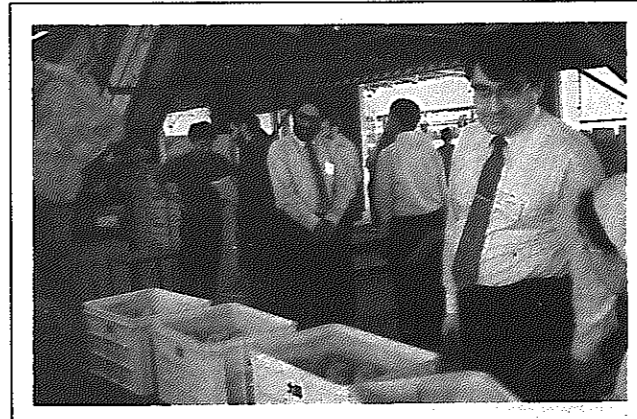


## 大郷ナシ選果場を視察

外国公館員  
農業視察

在京外国公館の大使ら一行が九月十七日、農業視察で本市を訪れ、大郷のナシ選果場などを視察しました。これは日本農業の実情を見てもらうと、農林水産省が毎年行っているもの。エクアドル、パラグアイ、セネガルの三大使はじめ参事官、書記官ら十六名十七人が参加しました。

一行は選果場で地区の概要や生産状況などについて農協職員から説明を受けた後、豊水や二十世紀などの選果を興味深そうに見学。ほ場視察では「なぜ袋を掛けるのか」「防除はどのように行うのか」「輸出先は」など、熱心に質問していました。

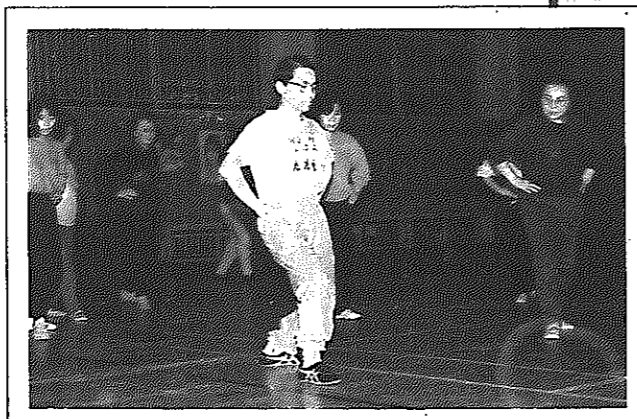


## 太極拳でストレス発散

有志指導者  
自主講座

有志指導者自主講座が九月下旬からスタートしています。これは、有志指導者派遣制度を有効に活用するため、有志指導者が自主的に参加者を募集し、講座を開くもの。七講座募集のうち、手作り日本人形、ちぎり絵、手編み、サッカー、太極拳の五講座が開講しています。

太極拳教室には、三十人が参加。星野博樹さん(古川団地)の指導の下、毎週土曜日青年教育センターで汗を流します。参加者は女性が多く、ほとんど太極拳が初めてという人ばかり。「体が軽くなった」「ストレスが発散できる」と大変好評です。



## 世界の中の日本を学ぶ

市民大  
学講座

市民大学講座が十月六日から二十七日まで、四回にわたって中央公民館で開かれました。今回のテーマは「世界の中の日本」。国際化について学ぼうと二十四人が受講しました。

講師陣も、新聞社の論説委員長をはじめ国際通がずらり。十月十三日には、イギリス人で元白根第一中英語講師のエイドリアン・コーエン氏が「イギリスと日本の比較」と題し講義しました。コーエン氏は、特に教育について「日本では学校の生活が重視され、イギリスでは学校以外の生活が重視されている」と違いを指摘していました。

